

児童生徒に
付きたい力

「どうしてその式になるの？」

「本当にこの答えでいいの？」と、子供が自ら問う力

A 8

ある会場に子どもたちが集まりました。

集まった子どもたち 200 人のうち 80 人が小学生でした。

小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。

下の 1 から 4 までのの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

1 0.4 %

2 2.5 %

3 40 %

4 80 %

正答 3 40 % 誤答例 2 2.5 % (200÷80=2.5から、2.5%を選んでいる。)

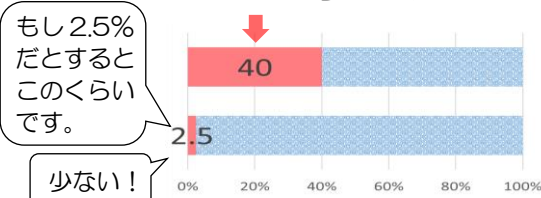
特徴的な誤答の例

立式の根拠が正しくない

- 文章に出てきた順に立式する。
- 「大きい数」÷「小さい数」をする。

もし、答えを振り返ってれば・・・

・200人のうち80人とは



・割合2.5を百分率(%)にすると、250%

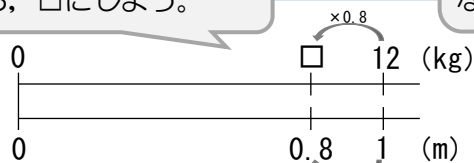
100%より多い!

200人をこえてしまう。

授業改善に向けて

- 場面を捉え、数量の関係を図に表しましょう。
- 図を基に、立式しましょう。

C:0.8mのとき何kgですかだから、□にしよう。



C:図から、 12×0.8 になります。

C:棒の長さが0.8倍になれば、重さも0.8倍になります。

C:1mのとき12kgです。

- 表された式を読むことも大切です。

4×3



C:1枚のお皿に餃子が4つあります。



C:お皿が3枚あるから、餃子の数は全部で…。

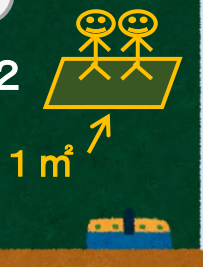
- 出した答え(結果)の意味を問いましょう。

T:計算すると答えは2になります。2は何を表していますか。

C:絵をかくとこうなります。

$16 \div 8 = 2$

C:1㎡に2人いるということです。



答え(結果)を日常の場面に戻し、意味付けることが大切です。教師が問うことで、子供が自ら問うようになります。

教師が意識すること

式を立てるまでの過程を大切にす！
式や答えが示しているものを問う！